

2008年度提出卒業論文題目一覧

ロング・テイクの比較研究	佐藤 陽子
映像の意味形成性と社会的リアリティ	浅川 雄一
現代映像心理論	安齋 翔貴
アニメと実写の関係性について	石塚 航
映画の技術的具現性と心理的受容	伊藤 整
アメリカン・ニューシネマのアメリカ映画史における位置について	遠藤 智章
アンガラ演劇におけるポスター	佐々木 聡子
映画を通して見るジャンヌ＝ダルク	佐々木 雄一
タップダンス考	田畑 典子
H・Mからの『指令』	寺尾 恵仁
メタルマクベス	土居 歩
浅草における大衆演芸	宮下 舞
社会における劇場・ホールの役割	阿部 彩子
『埋もれ木』分析	井上 悟
報道番組における表現	井上 裕衣
ブランド化された宮崎駿作品	今尾 剛
映像における触覚の表現	上杉 佳澄
視覚芸術と食卓の情景	上原 一晃
フランク・キャブラ論	右近 小雪
古川ロッパのスター・イメージの変遷	江島 史子
劇団の崩壊の軌跡	大竹 絵梨
『生きものの記録』の研究	岡崎 広大
身体障害の表象	川村 真裕子
ゴッドファーザー論	菊池 優太
松尾スズキ『キレイ』論	熊谷 有芳
チャンイーモウ監督映画における女性像	齋藤 恭子
タイ映画論	齋藤 祐未子
宝塚『パラダイスプリンス』研究	榊原 純
芸術行動と場	佐藤 康平
任侠映画の受容	佐藤 弘崇
映画の時間性	佐野 秀初
究極の幻想論	島根 淳
小劇場演劇の現在	鈴木 淳子
ウディ・アレンの描く虚構と現実	鈴木 里佳子
マン・レイの映画における物語性	関澤 朗
ミュージカル映画における歌の存在意義とその特徴	妹尾 隆一郎

2008年度提出卒業論文題目一覧

ニュージャーマンシネマ	成 智禮
アニメーション映画史	醍醐 みずき
ミュージカル映画の変革	高木 啓衣
浮浪紳士チャーリーと映画人チャップリン	滝口 遼
プレイバックシアター研究	多谷本 悦子
ジョージ・A・ロメロのゾンビ映画から見られる社会と人間批判	陳 重廷
映画の枠組みの解体	津留 正和
西堂行人論	遠山 ちあき
音楽劇「ガラスの仮面」にみるファン心理	中澤 卓詞
青山真治について	西村 桂司
映像作品に隠された歴史に翻弄された人々の声	野田 烈楠
映画と夢	野村 由芽
スタンリー・キューブリック論	服部 千紗
昭和以降の新作歌舞伎	日置 貴之
何故ニーナは戻ってきたのか	廣瀬 真理子
ジェームズ・ディーン研究	福永 瑞恵
サイボーグ・オントロジー	前島 信也
宮崎アニメ論	前田 隆輔
1980年代以降の沖縄映画論	松浦 梓
2時間サスペンスはなぜ「B級」か	松永 安芸
Visual Music研究	馬淵 準一
宮崎県の神楽の歴史と変遷	三浦 志乃
近代能『卒塔婆小町』における死と美について	宮坂 知映
「フルハウス」における皮肉	村上 博紀
作家論・深作欣二	望月 卓
西川美和監督作品に関する一考察	森 千浩
サロメとヨハネの死についての考察	森田 江里佳
オードリー・ヘップバーンの魅力と影響力	八木 紗樹子
ポスト古典的ハリウッド映画のスペクタクル性についての考察	山崎 翔太
人形浄瑠璃文楽「仮名手本忠臣蔵」	横堀 応彦
演劇における音の役割	吉沢 今日子
デジタルメディアは写真をどう変えたか	高橋 三太
身体表象のポロロッカ現象	若木 千尋
『幸せな日々』を巡る人間の欲求	鷲尾 悌卓